

もろずみともなり 両角友成県議会報告



私からは、第二次
世界大戦への痛切な
反省から、徹底した

の制定から情勢は大
きく変化しているか
ら、憲法審査会にお
ける議論を推進する
よう求めるというも
のです。

本会議場で討論に立ち、自民党提案の「憲
法審査会における議論の推進を求める意見
書（案）」に反対しました。
意見書（案）は、国民主権・基本的人権
の尊重・平和主義の三原則は現憲法の根幹
をなし、今後も堅持されなければならない
としつつ、我が国を取り巻く安全保障環境
は一層緊迫度を増しているとし、現憲法

平和憲法を守るために

11月県議会は11月26日から12月11日の会
期で、新型コロナウイルス感染症の関連予
算88億8543万円も含め97億円余りの補
正予算が提案されました。

11月県議会



農政林務委員会

- 新型コロナウイルス感染症拡大で浮き彫りになったのは、食と農業の危機や社会の脆弱さだとして、これを克服するためには、自国の食糧は自国で賄うのが重要。歯止めなき輸入自由化ストップ。生産コスト・価格保証の実現。新しい担い手の確保。老・壮・青年のバランス・家族農業等の重要性を説き、持続可能な新しい社会をどうする。生産を続けられる農業を長野県としてどう実現するか議論をしました。
- 鳥インフルエンザ対策では、林務部と連携し、野鳥の調査、ため池密集県に発生が多いとの報道もあり、農業用ため池だけでも県内に1869か所あるとし、調査を要請しました。
- 国に対しては、米価下落を食い止めるための備蓄米の買い入れ強化。種苗法については、最終の狙いである多国籍企業に種の独占を許さぬよう、今から声を上げるよう求めました。
- 景観、治山の観点からも松枯れ材の処理をしていただきたいが、専門家からは、一企業では無理があり県が中心になって事業を進めるべきと言われていた。そのように早急に進めていただきたい。
県が増やそうとしている林業従事者は逆に減少しており、これに歯止めをかけ、増員に転ずるには、林業で生活できる環境を整える必要性を質しました。



訂正とお詫び

9月定例議会「農政林務委員会」報告内、「田んぼダム」10aで10センチ水を貯めるだけで1000トン。と記してしまいましたが10aではなく1haでした。訂正してお詫びいたします。

恒久平和主義を採用した経過があり、9条を生かす政治が今こそ求められているとし、「国民の多くが憲法改正を望んでいない」とも、憲法原案の発議を任務とする憲法審査会は動かすべきでない。むしろ現憲法を生かす営みが求められている。今現在100年に一度といわれる新型コロナウイルス感染症拡大ただ中、国民は憲法改定議論の推進は望んでいません。
「今こそ、世界に冠たる平和憲法を守り生かす時では」と申し上げ、討論としました。起立採決の結果、自民党案が可決してしまいました。
残念ですが、今の県議会の勢力図です。これに負けずこれからも、平和憲法を守るための活動に力を尽くします。

米価の下落に対し国の支援を 全会一致めざして奮闘

党県議団の政策委員長として、「国の責任で米価下落対策を」の意見書の全会一致を目指して各派と交渉しました。

現在の米価下落は、新型コロナの影響という特殊な事情のもとであり、生産調整で農家のみが負担を負うのではなく、国が責任をもって需要と価格の安定を守る必要があるという趣旨の意見書で、全会一致で可決されました。



4年に一回行われる、県選挙管理委員会選挙で、補充員（4名）の委員になる順番を決めるくじ引きの様子（議会運営委員会）

